

氷見の元気を発信する情報誌

ひみ

広報

3

March.2026
No.869



こころの鬼を退治!

十三町保育園で豆まきが行われました

- 2 令和8年二十歳のつどい
- 4 八夕チ×キクチ ふるさと氷見トーク
- 6 第3期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略
氷見市人口ビジョンを策定しました
- 24 春中ハシド市内出場チーム紹介
- 26 春から始める講座・教室会員募集



1月11日(日)に芸術文化館で「令和8年二十歳のつどい」が行われ、312人が晴れやかな振袖姿や袴、スーツ姿で出席しました。
 式典では、宮田小学校4年生がお祝いメッセージを贈り、二十歳の門出を祝いました。市内音楽家グループ「Brilliante (ブリランテ) plus プラス」が中学校校歌メドレーや合唱曲を披露し、参加者は母校の校歌と一緒に歌いました。



令和8年 二十歳のつどい

司会
 石出 愛良さん
 (西の杜学園出身)



司会
 上仙 玲遠さん
 (西の杜学園出身)

二十歳の誓い

本日は、私たちが二十歳という節目の年を迎えるにあたり、このような盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございます。生まれ育った氷見市で、多くの仲間とともにこの日を迎えられたことを、大変うれしく、心より感謝しております。

二十歳を迎えた今、これまで私を支えてくださった家族、友人、先生方、そして地域の皆さまへの感謝の思いを改めて強く感じております。日々の何気ない支えや温かな見守りがあったからこそ、今こうしてこの場に立つことができていると思います。

私は現在、高専に通い、学業に励んでまいりました。そしてこのたび、税関への就職が決まり、社会人として新たな一歩を踏み出すこととなりました。国の安全を守るという責任ある仕事に携わる一員として、自覚と責任を持ち、誠実に職務に取り組んでいきたいと考えております。

これまでの年月を通して、思いどおりにはいかないことや悩んだ経験もありましたが、その一つ一つが今の自分を形づくっていると感じています。多くの人の関わりの中で学んだことを糧に、これからは自ら考え、行動し、社会に貢献できる人間へと成長していきたいと思っております。

まだまだ未熟ではありますが、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、以上をもちまして、二十歳の誓いとさせていただきます。

まず、二十歳のつどいという大きな人生の節目を迎えるにあたり、これまで私たちを支えてくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。

この場に立ち、二十年を振り返ると、今日まで支えてくれた皆さんの温かい笑顔が、次々と心に浮かんでいきます。成功とともに喜んでくれた笑顔、失敗したときにそっと寄り添ってくれた温かい笑顔、そして、今日の私たちの晴れ姿を見て浮かべてくれているどこか誇らしげな笑顔。どんなときも私たちは皆さんの笑顔に包まれていました。今日、私たちがここで見せる一人ひとりの笑顔は、これまで数えきれないほどの温かい笑顔に包まれて生きてきた、その証なのだと思います。

私は学校の先生を目指しています。たくさん温かい人に出会い、今ここに立つ人生を歩んできたからこそ、温かい眼差しを持った先生になつて、未来の氷見市の子どもたちへ恩返しをしたいと思っております。

泣きながら生まれ生きてきた私たちが、たくさんの方に笑顔にしてもらったこの二十年。そう思える日々を経て、今、私たちが伝えたいのは、ここまで支えてくれた、そしてここまで支え続けてくれたあなたへ。「あんなに小さかった私たちは、たくさんの笑顔に包まれて、ここまで大きくくなりました。ここまで支えてくれて、ありがとうございます。」と笑顔で伝えたいと思っております。

結びに、これからの日々、数えきれない笑顔から教えてもらったことを胸に、今度は私たちが誰かの笑顔をつくり出せる、そんな存在になれるよう毎日歩んでいくことを誓い、二十歳の誓いとさせていただきます。



林 永人さん
 (西條中学校出身)



木下 舞音さん
 (西條中学校出身)

ハタチ

キクチ

ふるさと氷見トーク

二十歳となった若者4人と菊地市長が、家族とふるさとへの感謝、将来の夢、氷見市への期待などを語り合いました。

菊地市長からのエール

二十歳という人生の節目を迎えられた皆さんには、積極的に挑戦してほしいと思っています。

成功の反対は失敗ではなく「何もしたこと」だと思います。行動し挑戦を通じて視野を広げ、自分を磨き、元気に成長していただきたい。その上で、氷見の未来を創る仲間となっていただけならと思っています。

今後の皆さんの飛躍を期待しています。



二十歳のつどい、ふれあい氷見トークの様子は、市公式YouTubeやInstagramでご覧いただけます。

YouTube
Instagram

チャレンジ

現在は、東京の大学で学びながら、都会という環境の中で、多様な価値観や知見に触れることを大切にしています。失敗も含めた経験を重ね、将来、胸を張って誇れる自分であることが目標です。そうした経験を氷見市の力になる形で生かし、故郷に貢献していきたいと考えています。



長井 涼大 さん
(北部中学校出身)

今の気持ち

二十歳という節目を迎え、これまで支えてくださった多くの方への感謝の気持ちを改めて感じていきます。

氷見の自然や人の温かさの中で育った経験は、今の自分の原点です。特に両親にはここまで大切に育ててもらったことに心から感謝しています。

氷見の未来像

氷見の魅力は、豊かな自然と世界に誇れる海鮮料理、特に寒ブリだと思います。東京でも氷見の寒ブリを知る人は多く、その価値を改めて実感しました。観光の発信を強め、食と自然を生かすことで人が集い、にぎわいが生まれる、将来世代に選ばれる「まち」になってほしいです。

チャレンジ

将来は、報道関係の仕事に就きたいです。SNSなどで誰もが簡単に情報を手でできる今だからこそ、丁寧に作り込まれ、確実な情報を届けてくれるメディアが必要だと考えています。誰かの心を動かし、一步を踏み出すきっかけをつくる存在になりたいです。



大橋 楓子 さん
(南部中学校出身)

氷見の未来像

白鳥がいる冬の十二町の水郷公園が私とても好きです。小さいときから家族に連れられて、毎年白鳥を見に行っていました。氷見の冬の思い出として印象に残っています。これまでと変わらず、多くの人の目にあのきれいな景色が写り、氷見の大好きな場所の一つとして愛され続けてほしいです。

今の気持ち

多くの方々に支えていただき感謝しています。また、両親が自分の興味を持ち進みたいと思っただ道を応援してくれたことをありがたく思っています。

現在、生物学を学んでいます。氷見の素晴らしい自然の中で育ったことが影響しています。恵まれた環境で育てていただいたことを嬉しく思っています。

チャレンジ

自然豊かな恵まれた環境で育ったことから、自然や生き物への興味を強く持つことができました。大学での学びや、ボイスカウトの経験を生かし、自然や生き物の素晴らしさをたくさんの人たちに伝え、守ってほしいと思っています。仕事に就きたいと思っています。



屋敷 祐生 さん
(西の杜学園出身)

氷見の未来像

今の美しい氷見を守り続け、活気あふれるまちでいてほしいです。

氷見の文化や自然は、魅力的な観光資源であると同時に、子どもたちが健やかに成長できる子育て環境としても大きな魅力です。その魅力を大切にしながら、活気あふれる良きまちとして未来に残していきたいです。

チャレンジ

経済学や経営学を中心に幅広く学び、社会や地域に関することを多角的に勉強しています。今後は学んだ知識を生かし、地元・氷見で人々が安心して暮らせる持続可能なまちづくりに携わり、そして地域に貢献できる仕事に就きたいと考えています。



辻 実優 さん
(西條中学校出身)

今の気持ち

これまで私を育て、支えてくれた家族をはじめ、さまざまな面で支援してくださった多くの方々に心から感謝しています。

いつでも帰ってきたくなる温かい地元氷見があること、そして変わらぬ愛情を注いでくれる家族への感謝を胸に、これからもさまざまなことに挑戦していきたいと思っています。

氷見の未来像

氷見市は豊かな自然や海の恵み、人の温かさが魅力的ですが、一方で人口減少が懸念されています。今後は安心して暮らせる環境と安定した働く場を整え、水産業や観光業を生かし、若者が挑戦できる機会を増やすことで、将来に希望を持てるまちへ発展していくことを期待します。

今の気持ち

幼い頃からずっと私を支えてくれた家族には本当に感謝しかありません。私のやってみたいことにいつも協力し、手を差し伸べてくれたからこそ今の私があり、自信を持って進み続けることができます。

また、進学をきっかけに氷見を離れて、改めて氷見の皆さんの温かさが身にしみ、一層氷見のことが好きになりました。

第3期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略 氷見市人口ビジョンを策定しました

【問合せ】 未来戦略課 ☎74-8011



人口の減少のカーブを緩やかにするとともに、たとえ人口が減少しても幸せに暮らせるまちをつくるため、「能登半島地震からの復興」および「活力とにぎわいのある『ひみ』の創造」に向けて、前例にないことや困難な課題などに対してもチャレンジして前へ進め、その実現にオール氷見で取り組んでいく第3期「氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。
この戦略の取り組みを推進することで2050年の氷見市の総人口を23,779人以上となることを目指します。

基本目標Ⅲ

人の流れをつくる

～若者や女性に選ばれ、いきいきと活力あふれるまち～

重要業績評価指標 (KPI)

若者(15歳～39歳)の年間の転入数
R6: 445人 → R11: 496人

IJU応援センターを利用して移住した年間の人数
R6: 15人 → R11: 60人

重要目標達成指標 (KGI)

若者(15歳～39歳)の社会増減数
R6: △246人 → R11: △93人

若者(15歳～39歳)のうち女性の割合
R6: 46.8% → R11: 47.1%



基本的方向

1 若者や女性に選ばれ、移住者やUターン者を増やす

重要業績評価指標 (KPI)

若者(15歳～39歳)の年間の転入数
R6: 445人 → R11: 496人

IJU応援センターを利用して移住した年間の人数
R6: 15人 → R11: 60人

2 市内に定住する若者や女性を増やす

重要業績評価指標 (KPI)

若者(15歳～39歳)の市民定着率
R6: 75.8% → R11: 79.1%

3 観光などの交流人口や関係人口、二地域居住者を増やす

重要業績評価指標 (KPI)

年間の観光入込客数
R6: 210万人 → R11: 230万人

氷見きときとファンクラブ会員数
R6: 2,102人 → R11: 4,200人

具体的施策

- 氷見市IJU応援センターの機能や移住しやすい環境等の充実を図り、より多くの移住・Uターンにつなげる
- 基本目標Ⅱの施策と連動して、仕事から若者や女性の移住やUターンにつなげる
- ぶり奨学プログラムの拡充を図り、社会人となった後のUターンの促進にもつなげる
- 氷見高校の入学生の全国募集を支援し、第二のふるさとづくりに寄与する

- 定住に対する支援の拡充や空き家・空き地の活用、宅地造成の促進など、本市で住み続ける環境を整備する

- 基本目標Ⅰ及びⅡの施策と連動して交流人口を増やすとともに、地域の魅力化や発信力の強化等により関係人口や二地域居住者を増やす

基本目標Ⅳ

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

～子どもや若者の笑顔でいっぱいのもち～

重要目標達成指標 (KGI)

幸せと感じている子育て世帯の割合
R11: 85.0%

基本的方向

1 結婚数を増やす

重要業績評価指標 (KPI)

年間の婚姻数
R5: 94件 → R11: 96件

2 出生数を増やす

重要業績評価指標 (KPI)

年間の出生数
R7: 155人 → R11: 159人

3 転入による子どもの数を増やす

重要業績評価指標 (KPI)

子ども(0歳～19歳)の年間の転入数
R6: 94人 → R11: 102人

具体的施策

- 基本目標Ⅱ及びⅢの施策と連動して、若い女性の人口を増やす
- 個々のニーズに応じた多様な出会いの機会の創出を促進する
- 結婚・出産・子育ての更なる負担の軽減を図る【結婚】

- 結婚・出産・子育ての更なる負担の軽減を図る【出産】

- 結婚・出産・子育ての更なる負担の軽減を図る【子育て】
- 子どもが楽しく遊ぶことができる安全で安心な施設を整備する
- 子どもが必要な医療を受けられる小児医療体制を充実する

基本目標Ⅰ

魅力的な地域をつくる

～未来にワクワクし、安心して暮らし続けられるまち～

重要目標達成指標 (KGI)

住み続けたいと思う市民の割合
R6: 66.1% → R11: 85.0%

基本的方向

1 将来に希望が持てるまちをつくる

重要業績評価指標 (KPI)

将来に希望が持てると思う市民の割合
R11: 85.0%

2 地域の持続性を確保する

重要業績評価指標 (KPI)

安全で安心して暮らし続けられると思う市民の割合
R11: 85.0%

具体的施策

- 本市の特長である「食」及び「自然・景観」を活かしたまちづくりを進めて発信し、多くの人が訪れる魅力的なまちをつくる
- 城端線・氷見線鉄道事業再構築事業による利便性の向上等を活かし、本市の活性化につなげる
- 若者や女性に好まれる景観づくりを推進する
- 金沢医科大学氷見市民病院を核として地域の医療を守るとともに、交通空白地の解消などの地域公共交通の確保や移動販売の支援等により日常の暮らしを守る
- 地域のDX・機械化等を促進するとともに、地域の担い手を育成する
- 地域のアンコンシャスバイアスの解消や地域の魅力化を推進する
- 地域への愛着を育む地域と連携したふるさと教育を充実する
- 地域コミュニティの維持に向けて獅子舞等の持続性を確保し、その魅力等を発信する
- 高齢者も含め、いつまでもみんなが健康で働いて稼げる環境をつくる

基本目標Ⅱ

仕事をつくる

～自分らしい働き方ができ、暮らしが豊かになるまち～

重要目標達成指標 (KGI)

納税義務者1人当たりの年間所得額(給与所得額、営業所得額及び農業所得額)
R6: 3,148千円 → R11: 3,509千円

基本的方向

1 本市の特長を活かした産業を振興して魅力的な仕事をつくる

重要業績評価指標 (KPI)

創業・継業・まちなか出店の件数
R6: 9件 → R7～R11累計: 75件

2 産業全体を活性化し、稼ぐ力を強化する

重要業績評価指標 (KPI)

担い手への農用地集積率
R6: 49.7% → R11: 55.6%

3 若者・女性が働きやすく、活躍できる職場をつくる

重要業績評価指標 (KPI)

男女の地位は平等になっていると考える市民の割合(職場で)
R6: 29.7% → R11: 43.0%

具体的施策

- 本市の特長である「食」及び「自然・景観」を活かした観光、飲食、宿泊及び農林水産業等が一体となって新たな産業を創出する
- 個々の産業において、若者・女性の能力等を活かすとともに、DXを促進して労働生産性を向上させ、給与などの労働条件の改善につなげる
- 若者や女性に魅力的な企業や研究所等を誘致する
- 若者や女性におけるアンコンシャスバイアスを解消するとともに、就業環境や労働条件、子育てしやすい職場環境などの改善を促進する